

セブリングネチャーズ・
インターナショナル会長

中野陽一郎

Yoichiro
Nakano1966年生まれ。上智大学卒業
後ゴールドマン・サックス、
SBCウォーバーグ、コメルツ
証券などを経て独立。ハワイ
の高級不動産「トランプ」「リ
ッツカールトン」「パークレ
ンアラモアナ」などの販売を
手がけ、BlackSand Capitalの日
本市場アドバイザー等を歴任。

天 空に抱かれながら、日中は圧倒的な公園の緑に癒やされ、夜は街の夜景を見下ろして充実感に満たされる。そんな眺望を独り占めできる部屋が原宿にあった。所有者は「トランプ・インターナショナル・ホテル・ワイキキ」を始め、ハワイの高級不動産の日本市場での販売を担う、セブリングネチャーズ・インターナショナル会長、中野陽一郎氏だ。

「不動産を取得する際の絶対条件が眺望、いわゆるビューの素晴らしさなんです」
なぜなら部屋はいかようにも手を加えられるが、ビューだけは購入後にいっさい変えることができない。それだけに建設前に図面やGoogle Earthを駆使して想像を膨らませ、周辺ビルの屋上から実際に確認するという。

「もちろん販売業者の眺望シミュレーションも見せてもらいますが、やはり自分の目と想像力で最後は判断します」
角部屋ゆえに270度の眺望がかなうこの部屋からは、左の眼下に東郷神社、窓の外には明治神宮と代々木公園の緑が広がり、夕方以降は渋谷と西新宿の高層ビルの夜景が楽しめる。

「陽が完全に落ちたあと、青空が刻々と色を変え、辺り一面が青い光に照らされるブルーモー

メントが一瞬訪れる時がある」
この景色は購入当時から独り占めするつもりではなかった。

「ここはプライベートダイニングとして、仲のいい友人や仕事の関係者を招き、食事を楽しむスペースにしたかったです」
信頼するシェフを呼び、お鮓、フレンチ、イタリアン、エスニックなどを、4人から6人で堪能し、移りゆく窓の外の景色を存分に楽しんでもらう。

「そこで部屋全体をリノベイトする際に、照明計画に徹底的にこだわったんです」

リビングルームの照明は4段階に変更できる。1段目が仕事をし、書き物をする生活の灯り。2段目がダイニングテーブルのライトアップとキッチンに明かりを灯す、ディナータイムの灯り。3段目が部屋全体の灯りが落ちるリラックスタイム用。そして4段目がグレアレスライト。「どんなに夜景が素晴らしいレストランでも、人や光がガラスに映り込んで外が見えにくいことがありますよね。グレアレスライトだとそれがないんです」

グレアレスライトはライトに照らされる範囲を狭めて、照らしたい部分だけを明るくするので、部屋に明暗の差が生まれ、高級感も演出できる。これらをデザイナーに的確に指示するの

DATA

所在地：東京都渋谷区神宮前
専有面積：105.67平米
施工者：三井デザインテック
構造：鉄筋コンクリート造

マンハッタンでセントラルパークを見下ろすかのような錯覚が起きる眺望。右手に西新宿の夜景。目の前は明治神宮と代々木公園の緑。

絶景原宿



5.モダンな家具とオリエンタルな古美術が絶妙なバランスで配置。6.ベッドルームは照明を巧みに使い落ち着いた空間に。7.ベッドルームとエントランスの両方からアプローチできるバスルーム。8.陽が落ちて空がブルーに変わっていく楽しい時間。9.ダイニングスペースの家具はBo Concept。部屋をグレーとブラウンでまとめたので、ブルーのベルベットの椅子が絶妙な差し色に。ペンダントライトはニューヨークのホーリーハントのもの。



眺望が最高の
プライベート
ダイニングルーム



1.飾りたい調度品に合わせてオーダーした棚。
2.とあるレストランで名入りの箸を知り、プライベートダイニングに招いたお客様へのお土産にと用意した。3.夜景を邪魔しないよう、テレビは下から迫り上がる仕掛けに。手前のライトはコードレス（充電式）のクリスタル。
4.パング&オルフセンのオーディオを設置した柱の中に、配線などを隠してある。

は、すべて中野氏の経験からだ。「コロナ以前は年の3分の1ほど国内外の大型ホテルやブティックホテルを仕事のためにリサーチしていて、その結果、一番好きになったのがパークハイアット系のインテリア。購入した物件のインテリアはすべて違っていましたが、知人から「常にぶれない、中野さんらしい部屋だね」と言われるほど一貫性があるようです(笑)」

過去にも、採算度外視のリノベイトで、中野イズムを貫いたプライベートダイニングをつくり、活用した経験がある。

「結果として、食事をしながら空間を味わっていたことで、仕事の話をしなくとも、僕自身の所有する物件やセンスに信頼を得てもらった結果となった。プライベートダイニングルームをきっかけに紡いだご縁は、数知れないですね」

そんな中野氏のブランディングの拠点ともいえる場所は、モダンでありながら、オリエンタルのアンティークが空間に深みを与えている。エレガントの域を超えない和洋折衷が持ち味のインテリアに、絶景という相乗効果が加わり、最高のプライベートダイニングルームとなった。

「ここで仕事をすると、発想が無限大に広がるんです」